

ESG投資を行う投資信託商品の取扱開始について ～資産形成のための投資が「社会貢献」につながります～

株式会社 秋田銀行（頭取 新谷明弘）では、お客さまの安定的な資産形成をサポートするため、下記のとおり、ESG投資を行う投資信託商品の取扱いを開始いたします。

ESG投資とは、環境（E）、社会（S）および企業統治（G）に配慮している企業を重視・選別して投資を行う、現在、世界的に注目を集める投資手法です。ESG投資での投資先は、環境、貧困、教育、医療などの社会課題の解決に取り組む企業になり、資産形成のための投資が、社会の未来をよりよくする「社会貢献」につながります。

当行では、今後もお客さまの安定的な資産形成の実現に向けて、より一層のサービス向上に努めてまいります。

記

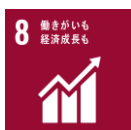
1 新たに取り扱い投資信託商品

商品名 (運用会社名)	特徴
まるごとひふみ 15 〔レオス・キャピタルワークス㈱〕	お客さまのライフプランや投資スタンスにあわせて、株式への投資割合が異なる3コースから、お好みのコースを選択できます。 まるごとひふみ 15、50 では「社会的課題の解決への支援」と「経済的利益の獲得」の両立を目指し、社会をよくする事業を行う国内外の企業・組織の債券にも投資します。
まるごとひふみ 50 〔レオス・キャピタルワークス㈱〕	
まるごとひふみ 100 〔レオス・キャピタルワークス㈱〕	
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 【愛称：ポジティブ・チェンジ】 〔三菱UFJ国際投信㈱〕	好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される世界各国の企業の株式等に投資を行います。

2 取扱開始日

2021年4月19日（月）

（以 上）



SDGs とは、2015 年に国連で採択された持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のことです。2030 年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。

秋田銀行グループは、2019 年 10 月に「あきぎん SDGs 宣言」を制定しました。